

第1回北杜市通学路安全推進会議議事録

日 時 令和2年10月22日（木） 午後14時00分～14時40分

場 所 北杜市役所 西会議室

出席者	関係行政機関	清水政英	（北杜市代表区長会を代表する者（北杜市区長会長））		
		川端清一	（甲府河川国道事務所道路管理第二課保全企画係長）代理		
		早川敬之	（中北建設事務所峡北支所道路課道路維持担当）代理		
		田丸雄大	（北杜警察署交通課長）		
出席者	学校関係代表者 北杜市	清水 潤	（北杜市校長会を代表する者（校長会副会長））		
		清水厚司	（北杜市産業観光部農地整備課長）		
		植松博仁	（北杜市森林環境部林政課林政担当）代理		
		小澤 茂	（北杜市建設部道路河川課長）		
		大芝 一	（北杜市企画部企画課長）		
		出席者	事務局	堀内典子	（北杜市教育委員会教育総務課長）
				安部 稔	（北杜市教育委員会教育総務課施設担当）
松本 守	（北杜市教育委員会教育総務課施設担当）				
内藤貴也	（北杜市教育委員会教育総務課施設担当）				
		中澤太朗	（北杜市教育委員会教育総務課施設担当）		

議 事

- （1）北杜市通学路安全推進会議について
- （2）北杜市通学路交通安全プログラムについて
- （3）令和2年度通学路合同点検について
- （4）その他
 - ・今後の予定について

公開・非公開の別：公開

傍聴人の数：0名（報道機関：1名（日本工業経済新聞社））

開 会

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 委員紹介（自己紹介）
4. 役員選出
 - ・会 長：清水潤
 - ・副会長：鈴木賢一、小澤茂
5. 議事

(議 長) 議事に入ります。第1号議案「北杜市通学路安全推進会議について」事務局からの説明を求める。

(事務局) 「資料1」により説明する。

(議 長) 質問ありますか。

(委 員) 異議なし。

(議 長) つぎに、第2号議案「北杜市通学路交通安全プログラムについて」説明を求める。

(事務局) 「資料2」により説明する

(議 長) 質問ありますか。

(委 員) 異議なし。

(議 長) つぎに、3号議案「令和元年度通学路合同点検について」事務局より説明を求める。

(事務局) 「資料3」により説明する。

(議 長) 質問ありますか。

(議 長) 表の見方で、対策済みと対策予定で印がついているところがあるが、明野小学校を例にもう一度説明してもらいたい。

(事務局) 例えば1番であれば、倒木の危険性や道路沿いの木が覆いかぶさり道路が狭くまた暗くなり防犯上も危険という要望に対し、例年樹木の伐採等の対応をしてもらっている。これらは令和元年度までに対策済みになっているが、今年度も継続要望として挙げられている内容である。

2番については、要望内容の歩道設置は対策が済んでおらず、また現時点で対策を検討してもらっている段階なので、今回は印が入っていないが、今後予定している第2回の推進会議の中では、令和2年度以降又は経過観察の欄に印が入ってくる予定である。

(議 長) 他に質問や意見等ありますか。

(県道路課) この中で既に対策済みのものもあるが、この場で報告してよいか。

(事務局) 報告をお願いします。

- (県道路課) P.8 小淵沢小学校の3番は、(コンクリート打設により) 対策済み。
同じく小淵沢小学校の6番は、通学路点検後の雨天時に現地パトロールをしたが、水の溢れている場所は確認できなかった。今後も継続的に確認する。
P.2 須玉小学校の8番は、詰まっていた土砂等を撤去した。その後雨天時に現場へ行き、水溜まりが解消されたことを確認した。
- (議長) 他に質問や意見等ありますか。
- (県道路課) 今回の(継続的な)要望の中に歩道の設置要望があるが、過去の経緯を調べたところ、用地の関係等により何十年も進んでいない箇所がある。例えばP.1 明野小学校の2番などは、すぐに歩道設置することは困難な案件なため、グリーンベルトを設置するなど応急的な対応をとったりしている。これ以上の対応となると地元も巻き込んだ中で時間をかけてやっていくしかないため、承知してほしい。
- (議長) 他に質問や意見等ありますか。
- (委員) なし。
- (議長) つぎに4号議案「その他・今後の予定について」事務局より説明を求める。
- (事務局) 第2回北杜市通学路安全推進会議の開催は、令和3年の2月頃を計画している。次の会議開催前に、対策の実施内容の聞き取りをしたいので、協力をお願いします。
- (議長) 質問ありますか。
- (委員) 異議なし。
- (議長) 他に質問や意見等ありますか。
- (国道河川) 取組みの一つを紹介したい。国土交通省では、今ETC2.0のデータを所有しており、車の走行経路のデータを収集し、ビッグデータとして保管している。ETC2.0の普及率は10%前後である。生活用道路の安全対策を検討する場合、国土交通省がデータ解析をして、走行平均速度やどのくらいの交通量があるか、又は事故データと重ねて走行と事故の関係をデータ提供できる環境にある。通学エリアの客観的なデータを見たいといった要望があれば、国土交通省で解析したデータで協力することもできる。もし要望があれば1ヶ月程度でサンプルデータを提供することができる。
- (議長) 他に質問や意見等ありますか。
- (委員) なし。
- (議長) 議事を終わります。ありがとうございました。
- (事務局) 以上で閉会します。
相互に礼。